



広報あづみので振り返る

2024 年①主な出来事

1月

- VC長野トライデントとホームタウンパートナー協定を締結
- メジャーリーガー大谷翔平選手から市内小学校10校にグローブの贈り物【写真①】

3月

- 医療・福祉・教育・学術研究等の分野で相互に連携 松本看護大学・松本短期大学と包括連携協定締結
- 県内自治体で初!! 観光メタパス空間が完成【写真②】
- 服飾専門学生が天蚕を活用したビジネスプランを提案する「Silk Idea Competition-TENSAN-2024 in AZUMINO」を開催

5月

- 市・株式会社ヤマウラ・株式会社d-ネクストと新産業団地開発へ向けた連携協定を締結
- 市役所組織を一部変更 ゼロカーボン推進課、こども家庭センターを設置
- ANCアリーナスケートボードひろば、長峰山ハングライダーランチャー台をリニューアル
- 第41回早春賦まつりを5年ぶりに通常開催【写真③】
- SDGs未来都市&自治体SDGsモデル事業に県内初のW選定
- 小説「安曇野」復刊へ クラウドファンディング開始

7月

- 明科北小学校小規模特認校制度2025年4月からの募集に向けオープンDAYを開催
- 安曇野スポーツフェスティバル2024・第10回記念信州安曇野ハーフマラソンを開催
- 東京藝術大学 安曇野AIR開催 同校出身の若手芸術家が市内に滞在し、制作活動を始動
- 市・安曇野RE株式会社と脱炭素に向けた官民連携協定を締結
- 空き家・古民家の利活用へ 再生協県連合会と包括連携協定を締結
- 安曇野生まれの夏秋イチゴ「あまあづみ」が誕生【写真④】
- 多様な働き方を創出 安曇野流リモートワーク事業スタート

9月

- 「心ふるえる 安曇野の夜」をテーマに第17回安曇野花火を開催
- あづみ野ランド浴場がリニューアルオープン
- 第33回信州安曇野薪能を開催

11月

- 東部アウトドア拠点整備 安曇野犀川×前川かわまちづくり計画が国に登録
- 友好都市盟約50周年を記念し「穂高荘・燕岳登山ツアー」を開催【写真⑤】
- 豊科中央児童館新築工事が起工
- キャンプを通じて明科地域の魅力を体験 「安曇野 Outdoor Meeting」を開催
- 中学生キャリアフェスティバルを初開催【写真⑥】
- ほりにし×リンゴのレシピで第1回ほりにし甲子園に出場



写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥

Interview
安曇野
きらりびと

自然な出会いから 血のつながりを超えた家族に

人をつないで新たな暮らしを生み出す
実家のような居場所を作りたい

佐藤 友香 さん (穂高)
内田 晴香 さん (穂高)



穂高牧の「六花の庵」を拠点に「みんなの実家デー」や「野良コン」などのイベントを主催している佐藤さんと内田さんに思いを聞きました。

それぞれの思いが重なって

農家の10人家族の長女として神奈川県の実家で育った佐藤さん。常に人が集まる環境だったこともあり、100人でバーベキューをしたことも。現在は、夫が佐藤さんの姓となり家族4人で安曇野で暮らしています。そんな生活の中で「昔ながらの『家を継ぐ』ということにこだわらず、親戚だけではないたくさんの人に関わってもらいたい」と思い「みんなの実家プロジェクト」を立ち上げ活動しています。

一方、三重県出身の内田さんは、血縁を超えた大きな家族で土地を守る暮らし「安曇野縄文ビレッジ」を形にしたいと思いい安曇野に移住しました。「ある日、安曇野の山の麓でイメージ通りの空き家を見つけました。迷わず持ち主を調べ手紙を出したことで今の活動の拠点として使わせてもらっています」と暮ら

し始めたきっかけを振り返ります。「六花の庵」と名付け、みんなでみんなの子どもを見たり、手仕事をしながら思いを語ったりする場を目指し、日々庭や畑を整え生活しています。

野良仕事が自然な出会いに

どこか共通する思いを持った2人はまず、多世代で実家のようにくつろぎ、楽しむ「みんなの実家デー」を始めました。ある時、共通の知人だった女性に良い相手がいたらなという話になり、「みんなの実家デー」のようなアウトホームな雰囲気のある男女の出会いの場を作りたいと思うように。それが「野良コン」を始めたきっかけとなりました。「このイベントは、私の借りている畑で農作業をしながら話をし、自然な出会いが生まれることを目指しています」と内田さんは話します。

この「野良コン」は、よくある婚活とは違い、参加者同士で深い話をする場。そこから出会いやつながりが生まれるという願いが込められています。「完璧ではない自分自身も出しながら本音で話し、深く関わることをいつも心がけています。お互いを家族のように思い合える関係を築けたらという思いで、その人がその人らしくあることを大切にしています」と佐藤さんは理念を話します。



佐藤さん(右)「歩く実家」。「みんなの実家プロジェクト」を主催。
内田さん(左) 穂高牧の遊休農地を次世代の人たちと未来に引き継ぐことを夢見て活動中。

MEMO

○みんなの実家プロジェクト
交流を通じて実家のよ
うな安心するつながり
作りを目指す佐藤さん
の取り組み。

○安曇野縄文ビレッジ
内田さんが昨年5月に
発表した1000年先
を見据えた暮らしのビ
ジョン。

内田さんInstagram

佐藤さんInstagram

今回の「野良コン」などの情報は2人のInstagramで!

Vol.30